

全国大会

平成 27 年 11 月 19 日 (木)



認定特定非営利活動法人

全国木材資源リサイクル協会連合会

全国大会プログラム

期日：平成27年11月19日

場所：木材会館

第1部 記念式典 13：30～14：15（7階：大ホール）

1. 全国大会開会宣言 認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会副理事長 中山 智
2. あいさつ 認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会理事長 鈴木 隆
3. 活動報告及び今後の活動方針
認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会副理事長 藤枝 慎治
4. 優良企業及び優良社員表彰

第2部 シンポジウム 14：20～16：30（7階：大ホール）

1. 基調講演 14：20～14：50
演題：「木材資源の利用と林業の成長産業化」
講師：農林水産省林野庁林政部長 牧元 幸司 様
2. パネルディスカッション 15：00～16：30
演題：「マテリアル及びエネルギー利用における木質資源の需給展望について」
 - ・コーディネーター：静岡大学副学長（農学部教授） 鈴木 滋彦 様
 - ・パネリスト
資源エネルギー庁 新エネルギー対策課
再生可能エネルギー推進室長 渡部 伸仁 様
林野庁林政部 木材利用課長 吉田 誠 様
日本繊維板工業会 専務理事 瀧川 充朗 様
(株)ファーストエスコ 代表取締役社長 島崎 知格 様
認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会 副理事長 山口 昭彦

第3部 意見交換会の部 16：45～19：00（6階：小ホール）

1. ご来賓紹介
2. 理事長挨拶及び謝辞
3. ご来賓挨拶
公益社団法人全国産業廃棄物連合会会長 石井 邦夫 様
4. 乾杯
日本製紙連合会常務理事 上河 潔 様
5. 閉会
認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会 副理事長 片岡 重治

全国大会の開催について

NPO 法人設立（平成 16 年）から 10 年を超え、本年 5 月には、当連合会は認定 NPO 法人となりました。国・ユーザーとの懇談会、イベント・セミナーなどの活動を通し、団体としての認知度は高まってきております。

これらの実績を踏まえ、更なる公益的活動を推進すべく、木材資源のリサイクルを通じた環境問題への提言団体として新たな一歩を踏み出す大会を開催します。

パネルディスカッションの論点

東日本大震災後の再生可能エネルギー電力固定価格買取制度の施行により、バイオマスによる発電が注目されており、FIT 認定設備が急激に増加し、燃料の供給不足が懸念されている。

そのような中、本年 7 月に 2030 年度の長期エネルギー需給見通しが公表され、さらにバイオマス発電の導入見込み量が急激に増加している。

何よりも、木質バイオマスは、カーボンニュートラルであること、太陽と水と大気中の二酸化炭素により持続的に再生産が可能であり、化石資源のように枯渇することがないことから、安定的な運用が可能なエネルギーであり、さらに、国内で生産できることからエネルギーの自給率を高めることにもつながる。

しかしながら、木質バイオマス発電の急激な普及は、木材資源の需給に大きな変化をもたらすだけでなく、現状の方策では国内資源だけでは不足し海外からの輸入に頼らなければならない状況も想定される。

また、木質チップは、従来から製紙業や合板・ボード製造業の原料として、また、セメント製造業などの燃料として大量に利用されており、新たな FIT 発電事業における木質燃料の大量需給は、既存産業への影響が大きいと考えられる。

このため、本討論会では、関係省庁、事業者の代表による本テーマの見通しと問題解決の方向を探ることを目的として討論する。

優良企業及び優良社員表彰

優良企業表彰一覧 7社

会社名	事業継続年数	代表者氏名
遠野興産株式会社	38年	中野 光
東北ホモボード工業株式会社	57年	川村 光幸
新潟エコサイクル工業株式会社	13年	齋藤 隆
株式会社タケエイ	38年	山口 仁司
門倉工業株式会社	66年	伊藤 晃
日本製紙木材株式会社	45年	藤澤 治雄
名古屋港木材倉庫株式会社	30年	野間 順一

優良社員表彰 8名

氏名	会社名	役職	勤続年数
和泉誠七	株式会社北越フォレスト(前) 合同会社イズミ(現)	代表取締役社長(前) 代表社員社長(現)	43年(前) 2年(現)
藤方博道	仙台環境開発株式会社	産業廃棄物中間処理場 所長	13年
伊藤孝典	株式会社クリーンシステム	企画部企画課 課長	13年
矢嶋 明	住友林業株式会社(前) 株式会社エコネット(現)	チップグループ主席(前) 顧問(現)	31年(前) 2年(現)
近藤輝雄	日本製紙木材株式会社(前) 萬世リサイクルシステムズ株式会社(現)	リサイクル事業部長(前) 顧問(現)	7年(前) 1年(現)
伊原哲夫	王子木材緑化株式会社	東京支店所沢営業所所長	23年
工藤昭彦	名古屋港木材倉庫株式会社	参与	17年
鈴木厚司	有限会社松井工業	工場長	14年

認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会役員名簿

平成27年11月現在

	役名	会社名	役職	氏名	所属協会及び役職
1	理事長	(株)クリーンシステム	代表取締役	鈴木 隆	NPO法人北日本木材資源リサイクル協会 代表理事
2	副理事長	萬世リサイクルシステムズ(株)	代表取締役会長	藤枝 慎治	関東木材資源リサイクル協会 会長
3	副理事長	フルハシEPO(株)	代表取締役副社長	山口 昭彦	東海木材資源リサイクル協会 会長
4	副理事長	木材開発(株)	取締役	鷹野 賢次郎	近畿木材資源リサイクル協会 会長
5	副理事長	(有)片岡久工務店	代表取締役	片岡 重治	中四国木材資源リサイクル協会 会長
6	副理事長	中山リサイクル産業(株)	代表取締役社長	中山 智	九州木材資源リサイクル協会 会長
7	理事	遠野興産(株)	代表取締役	中野 光	NPO法人北日本木材資源リサイクル協会 副代表理事
8	理事	仙台環境開発(株)	代表取締役社長	櫻井 慶	NPO法人北日本木材資源リサイクル協会 専務理事
9	理事	(株)タケエイ	事業本部長	徳山 重男	関東木材資源リサイクル協会 監事
10	理事	岐阜代用燃料(株)	代表取締役	石田 謙治	東海木材資源リサイクル協会 会計監査
11	理事	関西チップ工業(株)	代表取締役	船越 登	近畿木材資源リサイクル協会 副会長
12	理事	ホクザイ運輸(株)	代表取締役	河本 一成	九州木材資源リサイクル協会 副会長
13	専務理事	認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会	専務理事	澤地 義雄	
14	監事	住友林業(株)	チップグループ主席	矢吹 賢二	関東木材資源リサイクル協会 理事
15	監事	まるふく商事(株)	代表取締役社長	田中 一正	中四国木材資源リサイクル協会 監事
	名誉会長	市川燃料チップ(株)	代表取締役	彦坂 武功	関東木材資源リサイクル協会 名誉会長
	事務局長	認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会	事務局長	原 信男	関東木材資源リサイクル協会 専務理事

活動報告及び今後の活動方針



認定NPO法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

沿革・あゆみ

昭和60年

東海木材資源リサイクル協会設立

近畿木材資源リサイクル協会設立

関東木材資源リサイクル協会設立

平成 4年

全国木材資源リサイクル協会連合会設立

平成13年

中四国木材資源リサイクル協会設立

平成14年

東北木材資源リサイクル協会設立

平成15年9月

NPO法人北日本木材資源リサイクル協会設立

平成16年3月

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会設立

平成20年1月

NPO法人化5周年記念 全国大会の開催

平成23年4月

九州木材資源リサイクル協会設立

平成24年8月

発電利用木質バイオマス証明に係る事業者認定団体となる

平成27年5月

認定NPO法人となる

認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会 (以下:連合会) 組織図

総会



理事会

理事長

理事

専務理事

名誉会長

顧問

事務局
事務局長

木材資源リ
サイクル調
査及び広
報活動推
進委員会

連合会正会員

地域協会

九州木材資源リサイクル協会
同正会員

中四国木材資源リサイクル協会
同正会員

近畿木材資源リサイクル協会
同正会員

東海木材資源リサイクル協会
同正会員

関東木材資源リサイクル協会
同正会員

北日本木材資源リサイクル協会
同正会員

地域協会に
所属しない
正会員

監事

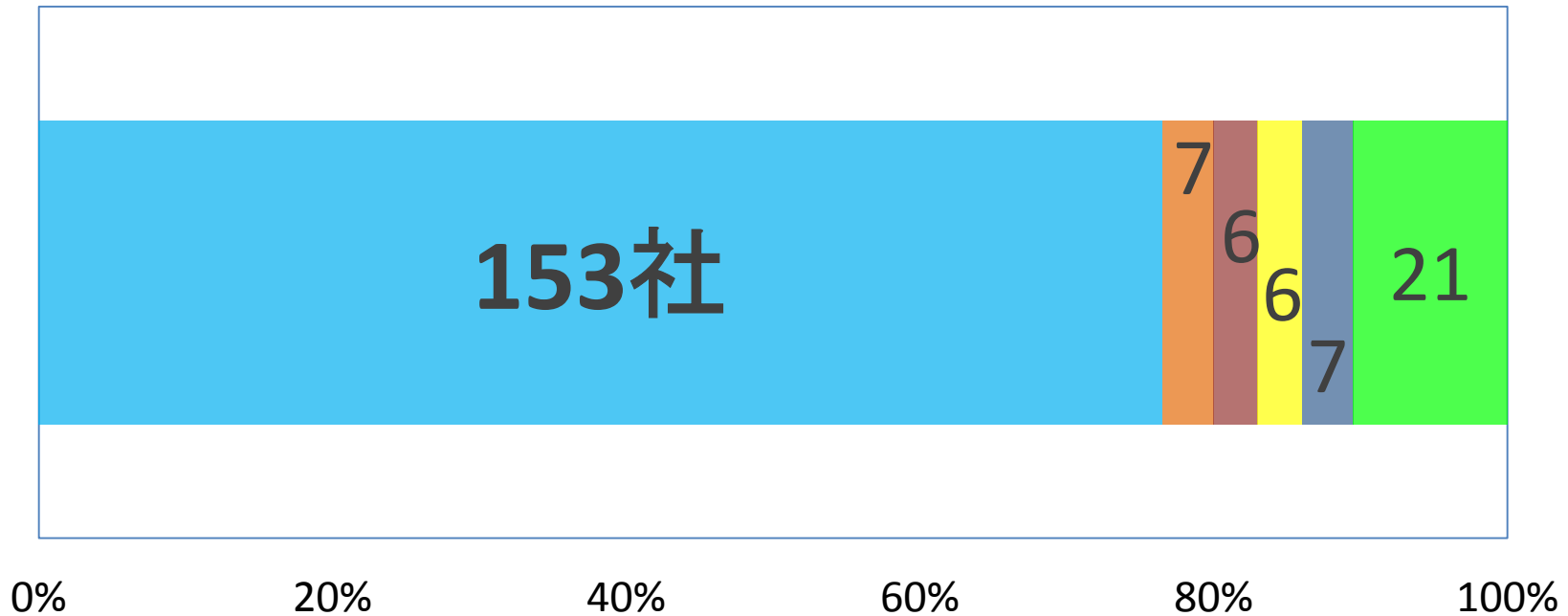
連合会賛助会員

地域協会賛助会員・物流会員

連合会の会員構成比

賛助会員等含め200社 11月1日現在

連合会全体の会員構成比



■ 木質チップ生産事業者

■ 製紙・ボード等マテリアル需要者

■ 売電事業者

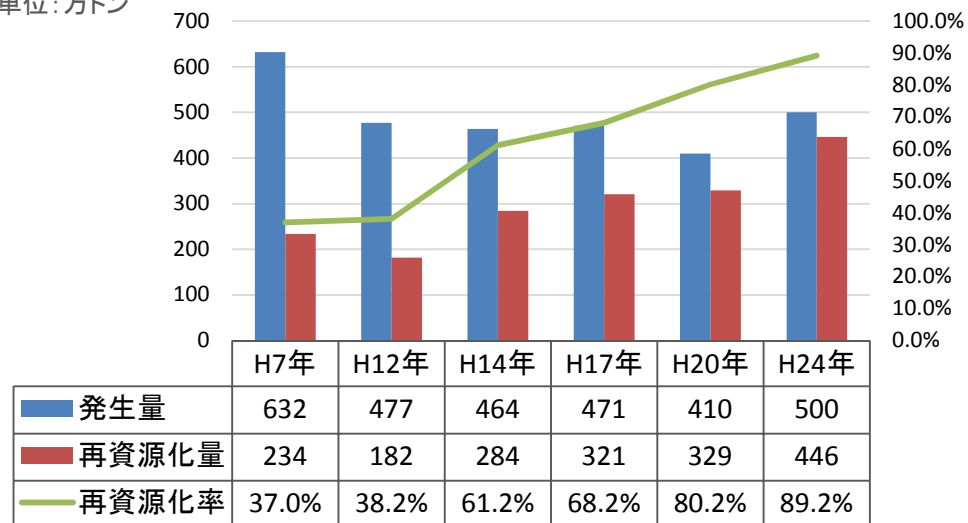
■ 木質燃料を扱う商社

■ セメント・製紙等サーマル燃料需要者

■ その他

建設発生木材の発生量・再資源化量・再資源化率

単位: 万トン

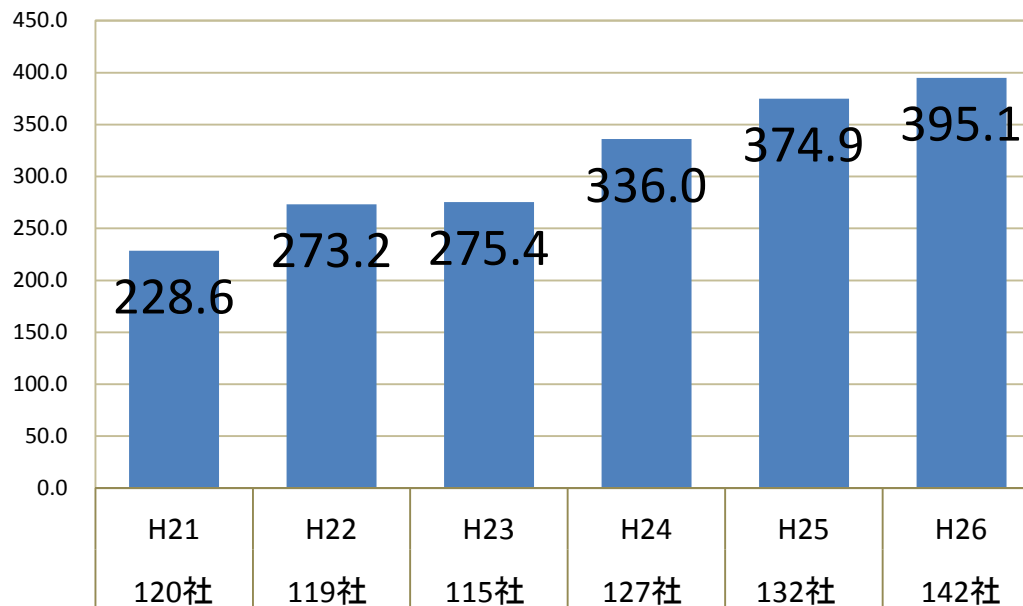


国土交通省「平成24年度建設副産物実態調査結果」から作成

平成12年の建設リサイクル法制定で建設廃棄物の現場選別が徹底され、建設発生木材の再資源化率は法制定時の38%から平成24年度には89.2%に上昇した。

全国木材資源リサイクル協会連合会の会員数及び、木質チップの取扱量は、過去5年間で大幅に伸びている。

単位: 万トン 全国木材資源リサイクル協会連合会年間取扱量



活動基本方針

協調・会員・連携
関係団体

Vision 展望
ニーズに即した将来像を

普及・啓発
出版物・ホームページ

Incentive 刺激
地域協会と相互提案型の事業提携を

情報提供
国・自治体・関係業界

Merit 利点
国民へ伝えられるものを

イベント・セミナー
シンポジウム・講演

Expand 発展
堅固な組織形成と拡大を

調査・研究・検討
委員会・WG

活動内容①

- ・ユーザー懇談会
- ・木質チップ需給問題検討会
- ・要望書の提出
- ・地域別木質チップ市場価格実勢調査
- ・木質バイオマス証明の事業者認定
- ・海外・国内先進地視察
- ・木質バイオマス発電に対する提言
etc.



要望書の提出



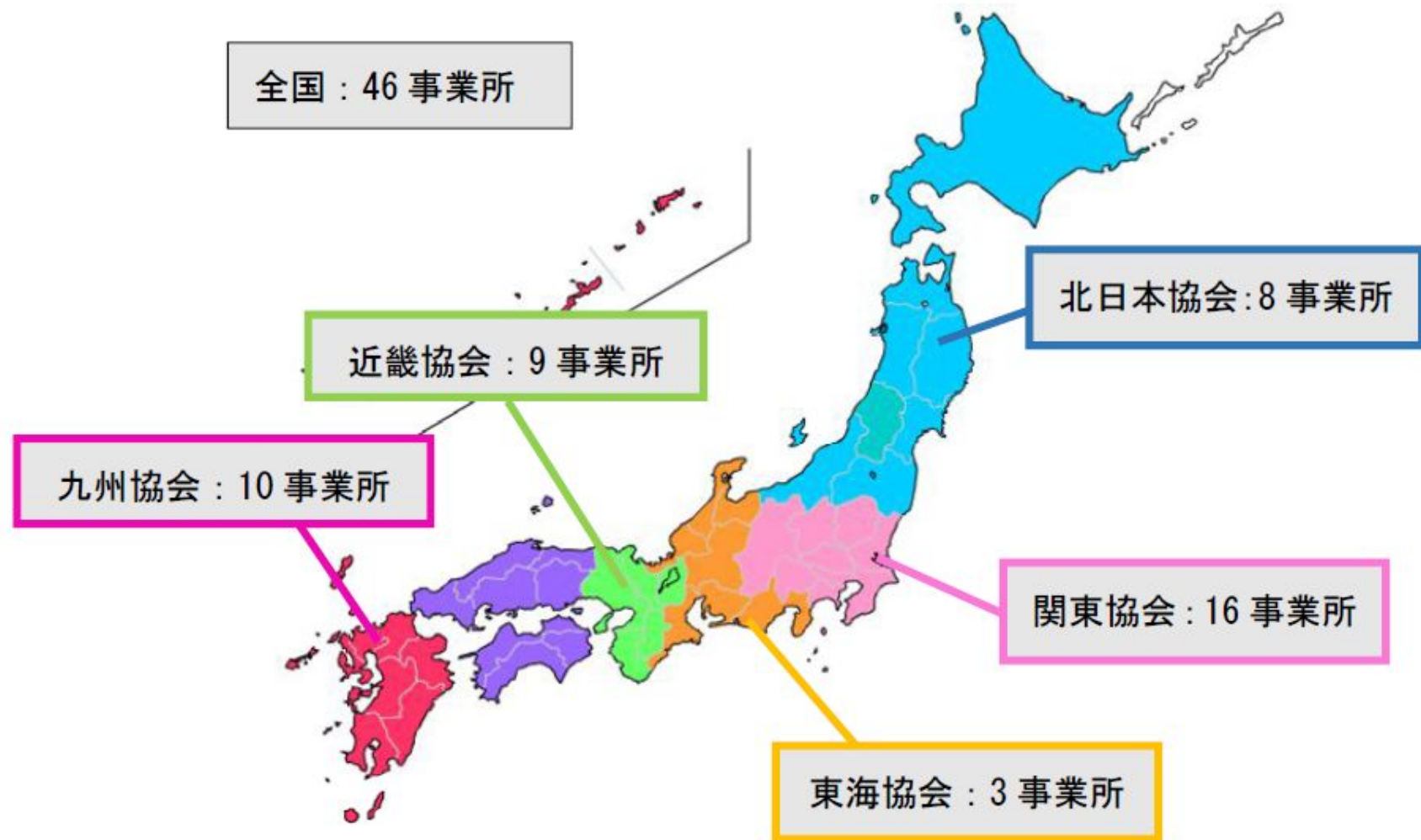
フィンランド・スウェーデン・デンマーク視察



需給問題検討会開催

活動内容②

発電利用木質バイオマスの証明に係る事業者認定



活動内容③

- ・エコ・プロダクツやエコライフフェア等
イベントへの出展
- ・小学校出前講座・工場見学会
- ・企業向け環境教育視察会の開催
etc.



エコプロダクツへの出展



企業向け環境教育視察会



小学校での出前講座

平成27年度調査

- ・平成27年度木質チップ等生産会員実態調査結果
- ・平成27年度木質バイオマス需要調査結果

認定特定非営利活動法人
全国木材資源リサイクル協会連合会

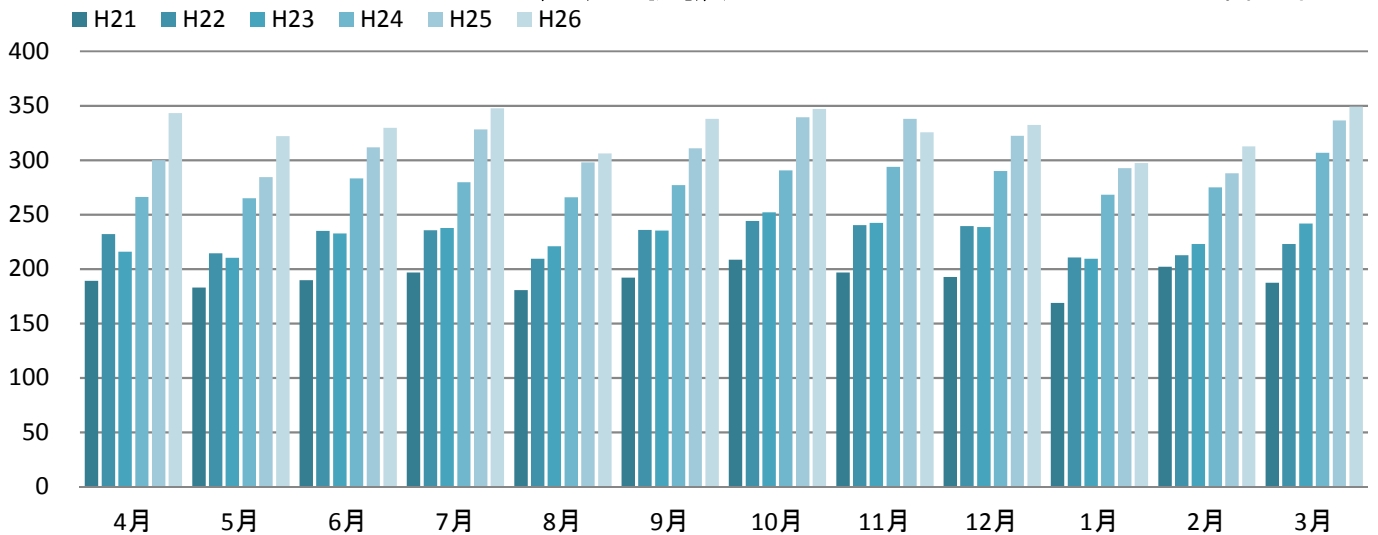
平成27年度木質チップ等生産会員実態調査結果

平成26年度各協会別 取扱量(出荷量) H26.4~H27.3 単位:千t

	北日本協会 50社	関東協会 54社	東海協会 12社	近畿協会 10社 入荷量	中四国協会 10社	九州協会 6社	合計142社
4月	57	161	52	43	5	26	343
5月	54	143	53	41	6	24	322
6月	54	149	55	41	6	25	330
7月	59	158	54	43	6	28	348
8月	50	137	51	38	5	25	306
9月	54	154	57	42	5	26	338
10月	56	157	61	44	5	26	347
11月	55	144	57	41	5	24	326
12月	57	145	56	42	7	26	332
1月	48	130	50	37	6	26	297
2月	47	144	53	39	4	26	313
3月	53	160	59	43	5	29	349
合計	645	1,781	657	491	65	310	3,951

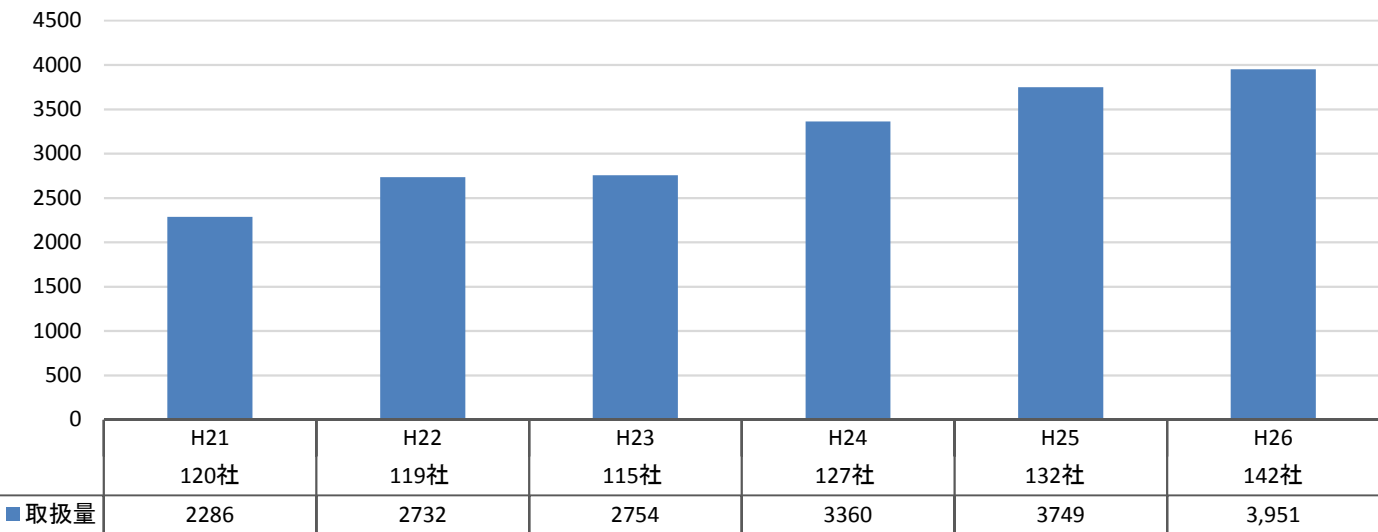
月別取扱量

単位:千t



年間取扱量

単位:千t

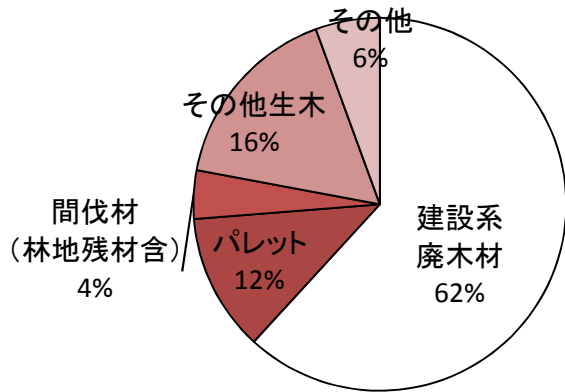


全国木材資源リサイクル協会連合会地域協会会員品目別取り扱い量(H26年度) 単位:千t

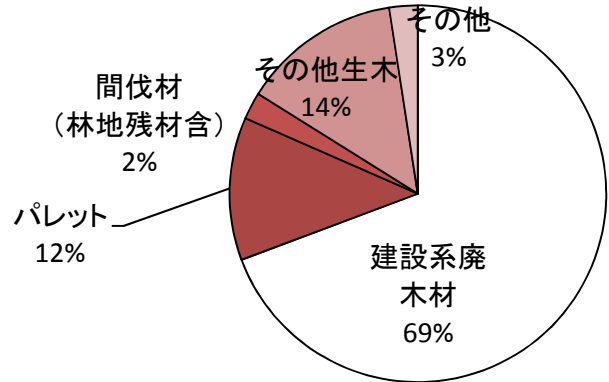
	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	全国
有効回答数	49	41	10	8	8	6	122
建設系廃木材	291	901	419	355	34	176	2,176
パレット	39	178	83	74	9	36	420
間伐材 (林地残材含)	95	19	16	0	7	11	148
その他生木	140	248	69	39	11	74	580
その他	45	141	3	2	4	1	196
合計	610	1,487	591	471	64	298	3,521

入荷量より算出

H26年度の廃木材の品目別取扱割合



H25年度の廃木材の品目別取扱割合

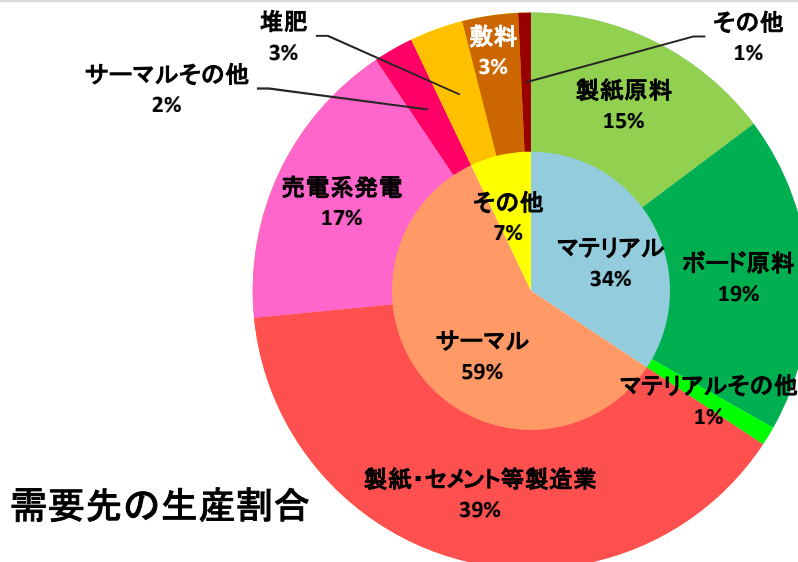


生産割合について(H26年度)

単位:千t

	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計(全国)
有効回答数	40	41	10	7	10	6	114
全体量	604	1,484	525	479	65	310	3,468
製紙原料	163	59	145	132	11	2	512
ボード原料	114	217	31	154	9	113	638
その他マテリアル	2	4	5	25	2	2	39
製紙・セメント等製造業	192	731	297	81	12	45	1,357
売電系発電	58	344	4	73	28	88	595
その他サーマル	30	5	5	0	0	39	81
堆肥	30	41	18	14	1	3	107
敷料	12	78	9	0	1	12	113
その他	3	4	12	0	1	6	25

出荷量より算出



未利用資源の活用について、木材チップ等の原料確保にどのような取り組みをしておられますか

●弊社は建物解体業を主力とした事業活動をしている。建廃での受入数量は年々増しており、県内全般に営業活動している。

●自社解体にて原料確保・自社にて間伐施業

●自社木造家屋解体工事

●生木・MDFの活用

●営業活動にて。木造住宅・解体は減少しておるため、一般廃棄物も取り扱えるよう許可申請予定

●木材輸送機械などの購入、人材育成。山側に木材保管ヤード、スケールの設置。

●解体業者への営業(2件)

●独自性をセールスポイントにして営業活動を行っている

●優良認定を生かしたい。

●現在は原料確保より、地域の適正価格の保全に重点を置いております。

●グループ社よりの確保を強めている。

●単価競争は一切避けて、顧客へのサービス向上等による個別営業の展開

●引取車両を増車し、機動力を活かした集材強化。

●今後、営業部門を設け営業活動の強化を実施する予定。

ユーザーへの要望

●生木混じりの燃料チップを使用していただければ助かります(価格差つけて)。比率はユーザー様にて決定。

●一年を通して、安定的に受入をしていただきたい(定期修理時等を除く)

●安定的な需要

●他社メーカー様へは地域処理単価の適正化をお願いしたいです。

●チップ製品納入に関する、品質強化と購入市況に於ける公平化の維持及び当チップ連合会との関係強化を図り、お互いにwin/winの関係を保つよう努力して欲しい。

●チップ乾燥設備の設置、施設設備内で搬送トラブルの軽減

連合会への要望

●生木の燃料チップ出荷先を増やせるよう働きかけて欲しい。

●解体業者へ値上げ依頼を行ううえでの基礎資料として、所属協会での解体費用の比較資料など入手できないか。

●エリアごとにおける木質バイオマス発電所の適切な数の提言

●周辺環境の変化により原料の入荷がなくなることを恐れております。

●行政対応の全国一元化をお願いしたいです。(群馬、栃木2県にて処理施設を保有しておりますが、行政の対応、解釈にずいぶん差異があるなど感じる事が多々ある為です)

●廃木材の取り扱いに関し、弊社では建築系廃木材とパレット梱包材は同単価のため数量を把握しておらず、取り扱い割合が出せません。また、生木、その他(草)についても同単価のため数量を把握しておらず、取り扱い割合が出せません。

●一般廃棄物扱いの生木依頼が多い。これは各自治体が家庭ゴミ処理で、材木の処理逃れな事、度々言いますが、木材は資源であり、一般廃、産廃の枠を取り払うべきである。

平成27年度木質バイオマス需要調査結果

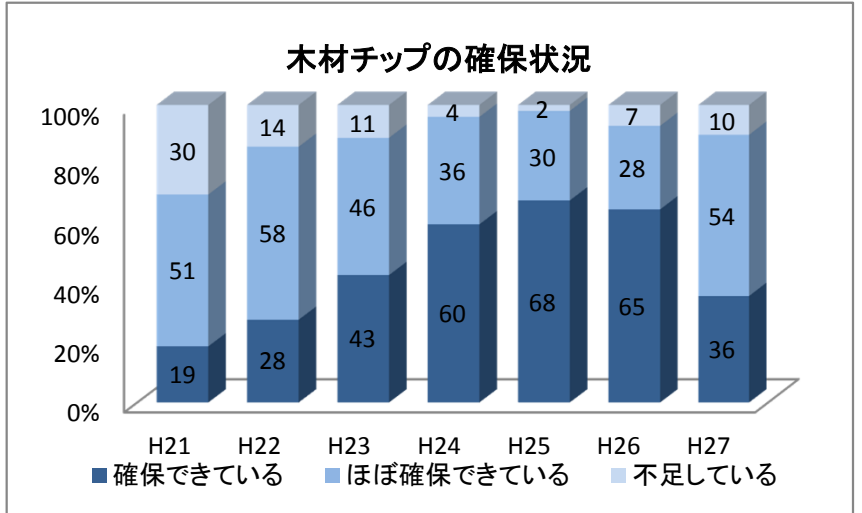
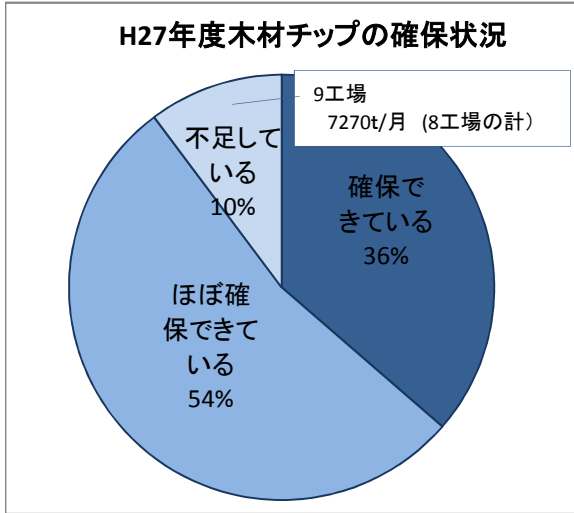
木くずチップの主要な需要施設を調査対象として、製紙会社36工場・ボード会社21工場・電力会社52カ所・セメント会社12カ所・その他29カ所 計150工場へ調査実施 そのうち92工場より回答がありました。(昨年度73件)

木材チップの利用について

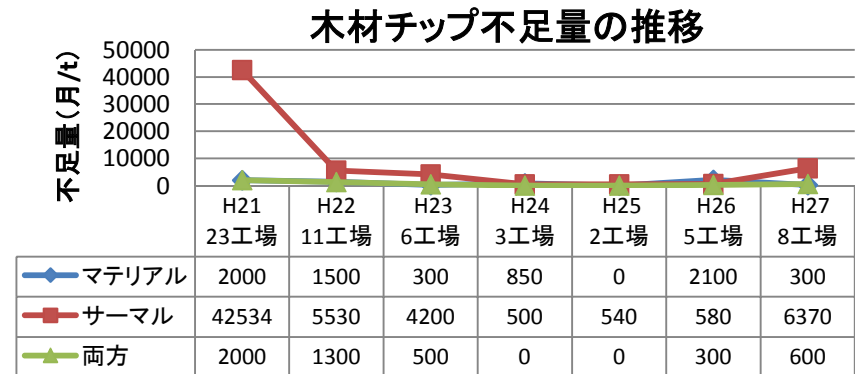
両方	マテリアル	サーマル	該当なし	合計
18	6	65	3	92

回答率
61%

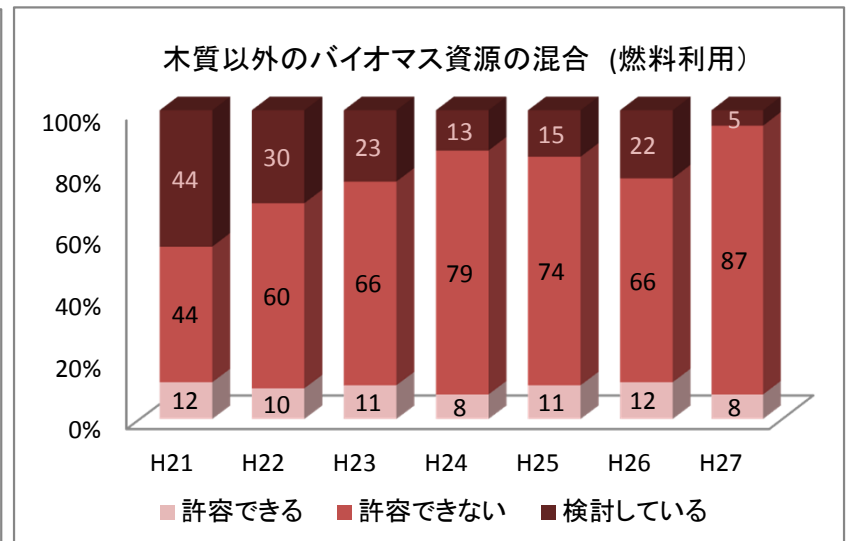
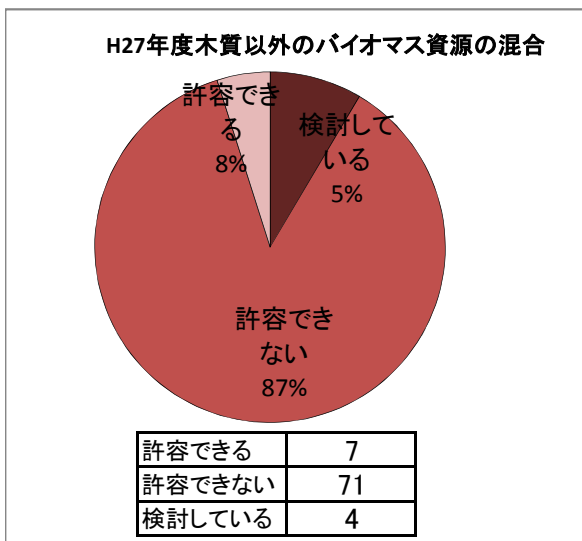
木材チップの確保状況



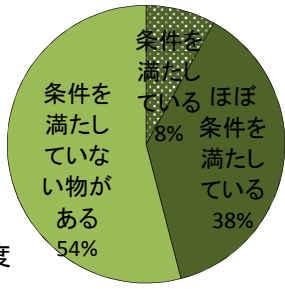
	確保できている	ほぼ確保できている	不足している
両方	5	11	2
マテリアル	1	4	1
サーマル	26	32	6
合計	32	47	9



木質以外のバイオマス資源(量や草等)の混合について(燃料利用)

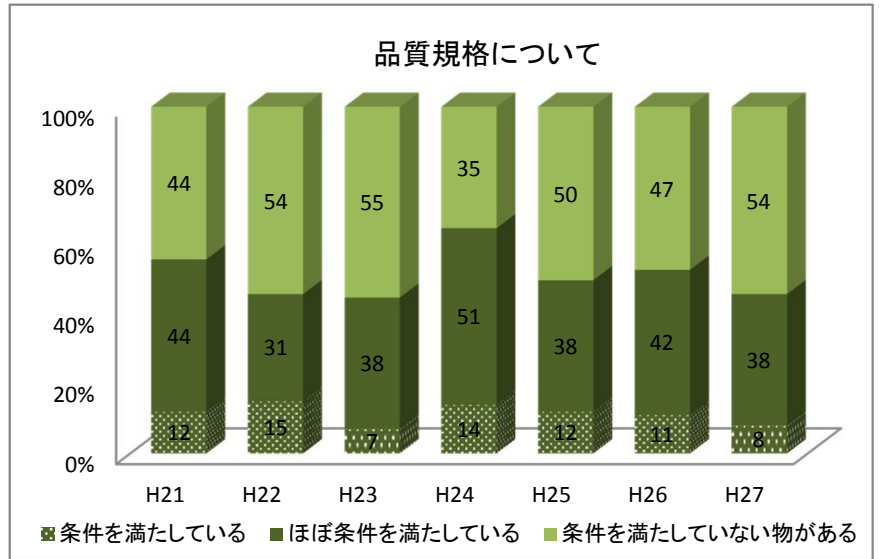


品質規格について

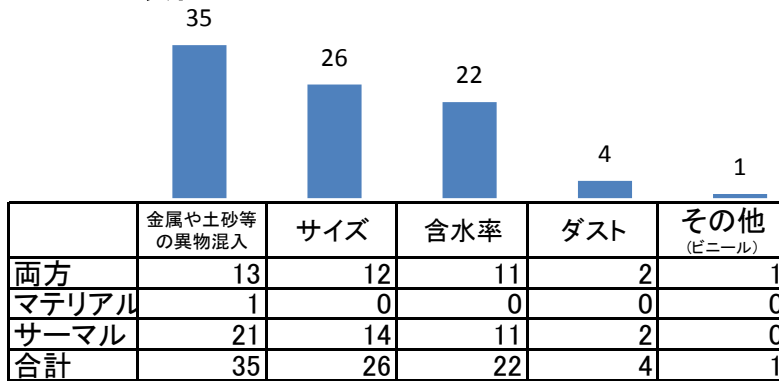


平成27年度

	条件を満たしている	ほぼ条件を満たしている	条件を満たしていない物がある
両方	1	4	13
マテリアル	0	6	4
サーマル	5	18	23
合計	6	28	40



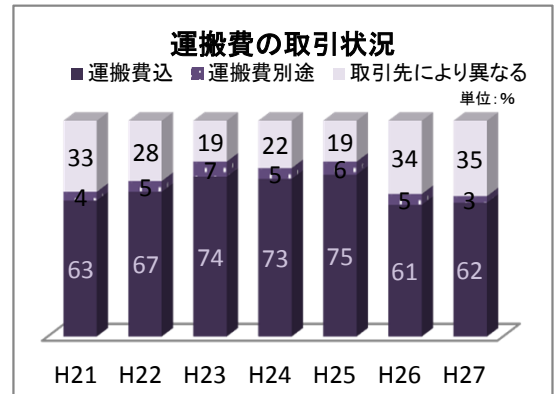
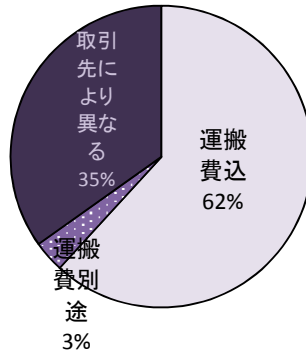
条件を満たしていない項目



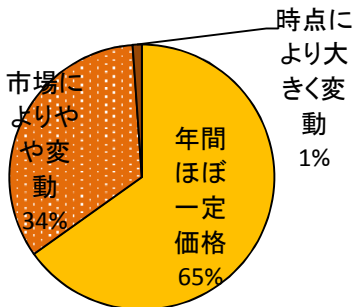
運搬費の取引状況について

	運搬費込	運搬費別途	取引先により異なる
両方	4	1	13
マテリアル	3	0	3
サーマル	48	2	15
合計	55	3	31

H27年度

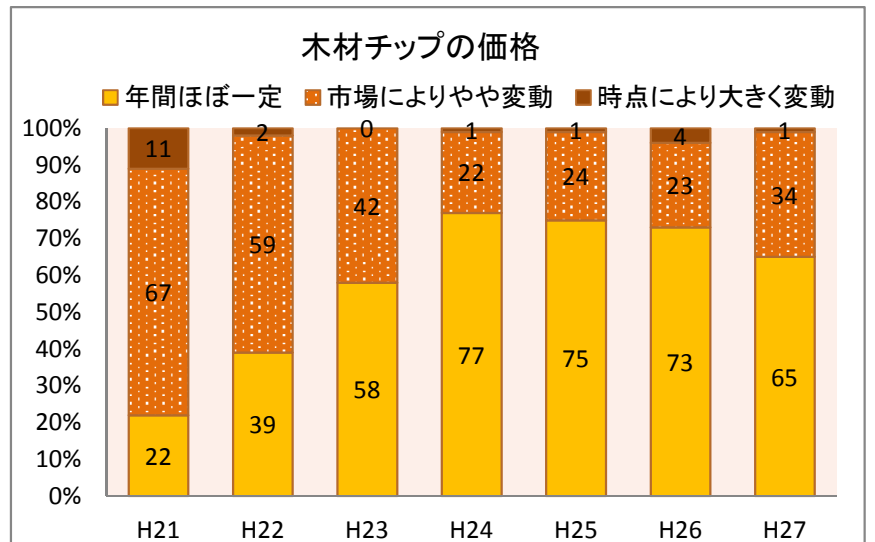


木材チップの価格について



H27年度

	年間ほぼ一定価格	市場によりやや変動	時点により大きく変動
両方	3	14	1
マテリアル	2	4	0
サーマル	53	12	0
合計	58	30	1



【供給者へのご意見・ご要望】

- ・品質規格厳守について 13件（異物混入と含水率の意見多数）
- ・安定供給について 感謝2件 お願い8件
- ・過積載について
- ・コンプライアンスの強化
- ・既存流通への優先供給
- ・FIT向けの未利用材混入防止

【連合会へご意見・ご要望】

- ・新規ボイラー稼働による需要増に対する供給側方針の聴取、開示。3件
- ・需要と供給両面での数的状況の把握及び将来予測のデータ化。
- ・FIT関連の新設ボイラー計画や使用燃料、調達状況についての情報収集、開示。
- ・各ボイラー停機情報の共有化。
- ・関連法律変更や制定の情報を知らせてほしい
- ・建廃材の発生量とその用途別数量分析などの統計的資料の整備をお願いしたい。
- ・FITでは解体材は使用していないと言っているが、実際は使用しているのではないか。それにより、集荷の減少、値上げが起こるなど市場を乱す可能性がある。
- ・未利用材、一般材区分の明確化と地域ごとのFIT・サーマル利用情報の提供
- ・取引価格の安定のお願い 2件
- ・品質指導のお願い 2件
- ・マテリアル優先のお願い 1件
- ・供給不足解消についてのお願い 2件
- ・情報交換の場を設けてほしい。
- ・市況等の情報提供 3件
- ・過積載減の働きかけ
- ・椰子殻や木製ペレットの現状について情報交換をしたい
- ・空き家対策特措法の見通しについて伺いたい
- ・未利用材の利用拡大に向けた国への働きかけ等 2件
- ・調査結果のフィードバックが遅い